

No. C02	まっちゃん	年月日	令和5年1月30日(月)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在加工食品会社で部長職として勤務している。定年退職まであと3年という状況の中で、65歳まで雇用延長を考えていたが、社内研修を受けたことをきっかけに、このままでいいのかと思い始めて相談に来た。

1行目：良かった点、2行目：悪かった点

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) 来談目的を聞くことができない状況の中で、相談者を受容し続け、言語的追跡を確実に行うことができた。
- (悪) 相談者が話したいと思っていたトピックスに焦点が当たらず、15分の面談が終わってしまった点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者の問題は以下の2点が考えられる。(1)会社から求められている役割と会社の方針に対する理解不足。(2)入社2年目や3年目など、若い世代とのコミュニケーションの不足。

②その根拠 根拠は以下の2点である。(1)時代の流れを考慮すると仕方がないと発言しているが、会社に対して自身の意見が通らないことに憤りを感じている点。(2)若い世代の働き方に関して、「甘い」という発言と、同年代と若い世代とでは壁があり、分断されているという発言が根拠としてあげられる。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

新卒から35年間会社の最前線で継続的に勤務されてきたことを労いながら、若い世代への相談を躊躇う相談者の感情を丁寧に傾聴し続ける。その上で、社内研修の内容や、このままでいいのかと思う気持ちを聴かせてもらえるように努める。そして、社内研修や会議での内容を振り返り、棚卸しを促すことで、会社から求められている役割や現在の会社の方針、それに対してどのように思われるのかを相談者自身で内省して頂きながら、それらの理解を深められるようにして頂く。これらにより、相談者が定年後のキャリアについて納得いく形で意思決定ができるように支援していくことを今後の方針とする。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙